

ハラスメントについて

東京未来大学こども心理学部

教授 藤後悦子

2024年10月1日（火） 18時30分～20時

@王子 北とぴあ スカイホール

本日の流れ

1. 自身の経験より
2. ハラスメントとは
3. ハラスメントの法的根拠
4. こどもの視点からのハラスメント
5. 大人(指導者 & 親)が熱くなる理由
6. ハラスメント防止に向けて

自己紹介

臨床心理士, 公認心理師

臨床発達心理士, 早期発達支援士

保育士, 幼少年体育指導士

博士 (学術)

タイマッサージ

笑いヨガリーダー

TFT療法トレーナー (診断レベル)

Brain Spotting (Step2)

ストレスチェック実施者、ラジオ体操指導員

自己紹介

保育の場

学校の間

スポーツの間

地域

保育カウンセリグ

藤後悦子 編著
Toko Etuko



ナカニシヤ出版

藤後悦子 監修

藤後悦子・柳瀬洋美
野田敦史・及川留美
Toko Etuko・Hiromi Yanase,
Atsushi Noda, & Rumi Okawa

社会的 子育ての 実現

人とつながり社会をつなぐ
保育カウンセリグと
保育ソーシャルワーク



こども環境学会
学会賞：論文・著作賞

・保育カウンセラー
・就学支援検討委員会

・中学SC
・大学学生相談
・通信高校心理サポート

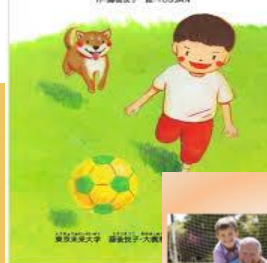
©2024 Toko Etuko.

・心理サポート
・指導者研修
・ペアレント教室

・子育て支援
・学童/放課後子ども教室
・社会教育委員会/区民評価

けんちゃんと サッカーボール

藤後悦子 監・監修



中学生のナチュラズを形成する発達教育プログラム

藤 後 悦 子 著

風 間 吉 房



スポーツメンタルトレーニング



こども環境学会 論文・著作奨励賞



1. 自身の経験より

小学生の地域スポーツで 目の当たりした疑問

• 罵倒・暴言・威圧的な態度

→保育分野で大切にしていることが、すべて否定されている感じ。「虐待」なのでは・・・？」
アメリカからの留学生が激怒

試合で負けると「お前のせい」
「お前は意味がない」、失敗すると、
「お前何もしなくていい」
とコートの中で一人たたされる。



• バレーとラグビーで悩む友達（ラグビーでは、筋肉が必要。バレーでは、太りすぎと言われ・・・）

ハラスメント関連記事

東洋経済ニュース(2021年1月1日)

小学生が「死にたい」ミニバス指導の壮絶な実態
あれから息子は学校にも行けなくなった

「バスケットさえやらせなかったら……」首都圏に住む40代の男性会社員は、後悔し続けている。男性の長男(以下、A君)は昨夏、家でバツタリ倒れた。以来、小学校へはほぼ行けないまま卒業した。



不安で夜も眠れない。睡眠障害がひどかった。

成績優秀。真面目でスポーツも得意な子がここまで不調をきたした原因は、ミニバスケットボールクラブでのパワーハラスメントだと男性は考えている。

- ミスをする「このままだとポジションなくす」「いらねえ」。殴られたりすることも。
- 試合も一日5試合。ミスすると一人でダッシュ。
- わずか12歳の男の子に、希死念慮の症状が現われたのだ。「お父さんはどんな死に方がいい？」真剣な眼でA君に尋ねられた。
- 「スポーツの指導はそういうものだ」と僕ら親たちが刷り込まれていた。やりすぎだと感じはしたが、他の親の手前もあって言えなかった」
- 誰ひとり異議を唱える人はいなかった。
- 強豪私立中学校への進学を世話するなど、大きな権限をもつコーチに逆らえない



- ・「コーチに抗議などして機嫌を損ねれば、そこを目指すほかの親子の邪魔をしてしまう」と他の保護者も考えたのでしょう。
- ・「同じ学区、地域に住み、顔見知りの親たちが混乱を避けたい」
- ・A君は、中学生になった今も心療内科への通院は欠かせない。「(バスケットを)放り出してしまったと、今でも自分を責めています」男性や妻が「君は悪くない」と言い続けてもトラウマは消えない。



2. ハラスメントとは

一般社団法人日本バトン協会 倫理委員会 ハラスメント防止対策について(提言)

<http://img.p-kit.com/jbta/MEMBERONLY/1524729852081281600.pdf>

ハラスメント防止対策について(提言)

一般社団法人日本バトン協会 倫理委員会より

現在、各種競技(協会)において、ハラスメントの問題がクローズアップされています。バントワーリングが、よりメジャースポーツとして進化していく過程において、このハラスメントや、さらにドーピングについての問題は確実に直面していくことであり、その防止のために真摯に取り組んでいかなければならない重要な課題です。

倫理委員会としては今後、「倫理規程」や「倫理に関するガイドライン」を会員の皆様にご提示していく予定です。

ついては、まず、日々の現場で指導に携わる先生方ならびに指導者の皆様に、ハラスメント防止の認識を深めていただきたく、この資料をご一読いただくと幸いです。

選手たちがバントワーリングというスポーツを通じて、健全な心身の成長を図ってくれること、そしてスポーツをする喜びと充実感を得てくれることを願っております。そのためには、指導する側が日々その指導方法を省みて研究していかなければならないと考えます。指導する側が進化していかなければ選手の進化はありません。

今回、ハラスメント防止について、パワーハラスメントをテーマに、注意やポイントをご提示します。それぞれの団体でご配付いただき、話し合いの一助としていただくと幸いです。

内容としてはスタンダードな原則論です。よろしくお願いいたします。

敬白

【パワーハラスメント防止について(資料)】

(1) 指導の行き過ぎに要注意！ーパワーハラととられがちな指導とはー

選手の練習状況によっては、厳しく指導しなければならない場合もあります。もちろん、厳しい指導のすべてがパワーハラスメントになるわけではありません。合理的かつ適切な方法であれば、厳しい指導であっても許容されます。しかし、厳しい指導が必要な場面であったとしても、指導者の行き過ぎた言動は、法律上、問題となります。以下のような言動は行き過ぎであるとして、違法性が認定されるおそれがあります。

- 1) 身体的暴力 (たたく、つねる、こずく、ける、髪を引っ張る…など)
- 2) 大声で怒鳴る(他の要素とあいまって)
- 3) あえて他の選手の面前で注意する(注意内容による)
- 4) 長時間、立たせたまま注意する
- 5) 不適切な言葉を用いた注意
 - ① 身体に害悪を加える趣旨の発言
 - ② 人格を傷つけるような発言

©2024

6) 物理的な隔離

7) 見せしめの指導

(2) パワーハラにならない指導のポイント

パワーハラスメントにならず、効果的に指導し、必要であれば叱るためには、次のことに気をつけましょう。

指導者だから何をやってもいい、何を言ってもいいというわけではないこと、指導者は指導上、パワー(権力・権限)を持っていることを認識し、不適切な言動を慎むことが必要です。

ポイント① 具体的な行動に焦点

叱るのは、選手に気づきを与え、選手の行動を変容させることが目的です。どのように行動を変えてほしいのか、具体的に示しましょう。

ポイント② 人格の否定、性格の非難はいけません

叱るときでも選手の人格を尊重し、選手の育成を考えていれば指導者の気持ちは伝わるものです。

ポイント③ 感情的にならないで

冷静に言うべきことを伝えることが重要です。また、冷静であっても、ネチネチと執拗に攻め続けるのは良くありません。

ポイント④ どう伝わったか確認しましょう

指導の後、選手が指導者の言葉をどう受け止め、理解し、行動を変えようとしているか確認すると効果的です。

ポイント⑤ 状況に応じた指導を

集団の前で叱ることは、一対一で叱るより、選手に精神的な苦痛を与えることが多く注意が必要です。

ポイント⑥ 選手の成熟度別にスタイルを変えて

年齢、経験、性格に合わせた指導スタイルを発揮しないと、お互いの関係性が不良になり、「指導」が「パワーハラスメント」になる可能性が高まると言えるでしょう。

日々のご自身の指導の姿を省みてください
指導者間で声をかけあうことも大切です

ハラスメントの種類

1) 身体的ハラスメント

(たたく、つねる、こずく、ける、髪を引っ張るなど)

2) 大声で怒鳴る(他の要素とあいまって)

3) あえて他の選手の面前で注意する(注意内容による)

4) 長時間、立たせたまま注意する。

5) 不適切な言葉を用いた注意

①身体に害を加える趣旨の発言

②人格を傷つけるような発言

6) 物理的な隔離

7) 見せしめ的な指導

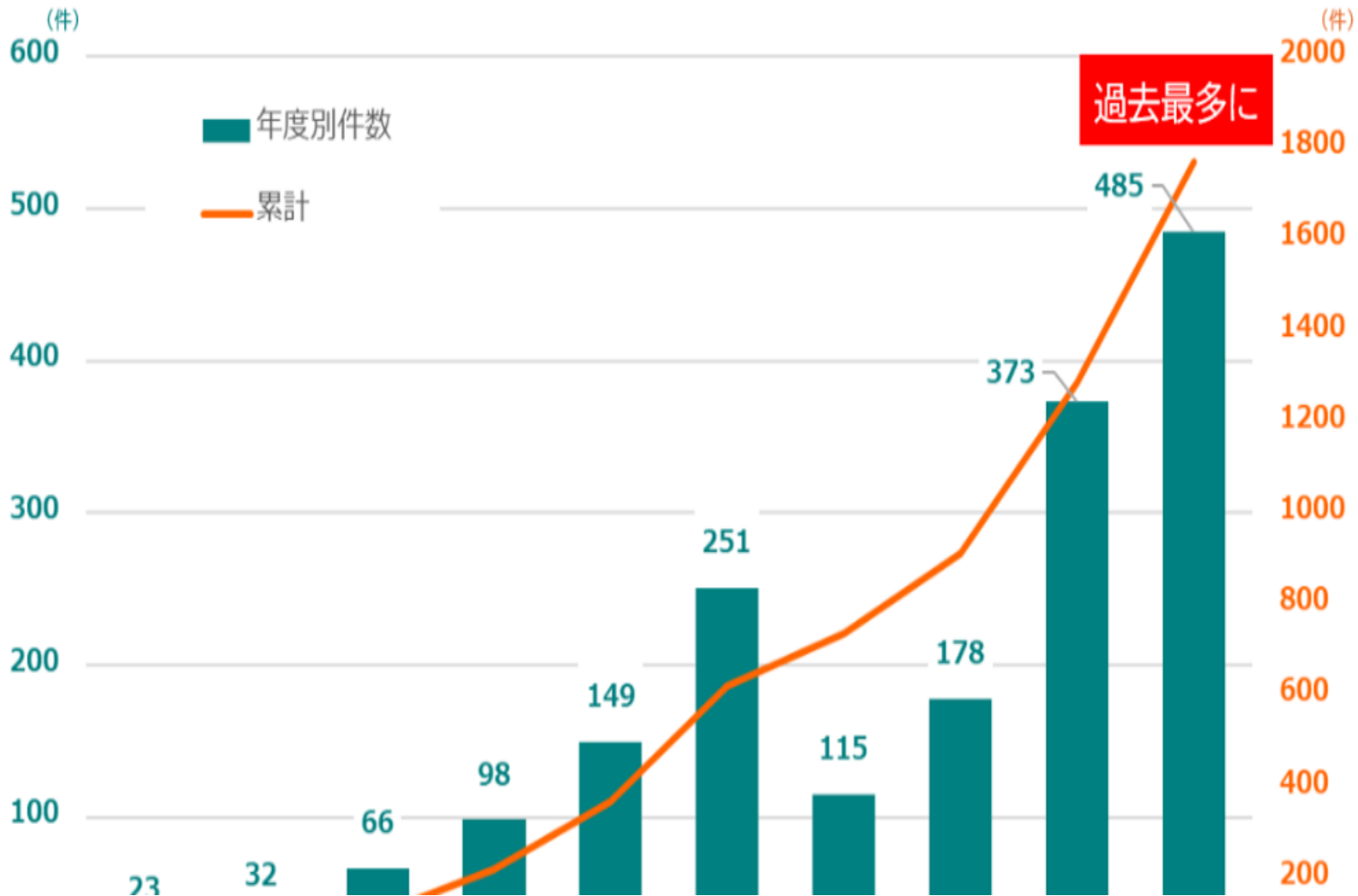


+α 性的ハラスメント

一般社団法人日本バトン協会 倫理委員会ハラスメント防止対策について(提言)

<http://img.p-kit.com/jbta/MEMBERONLY/1524729852081281600.pdf>

暴力等の相談窓口の件数

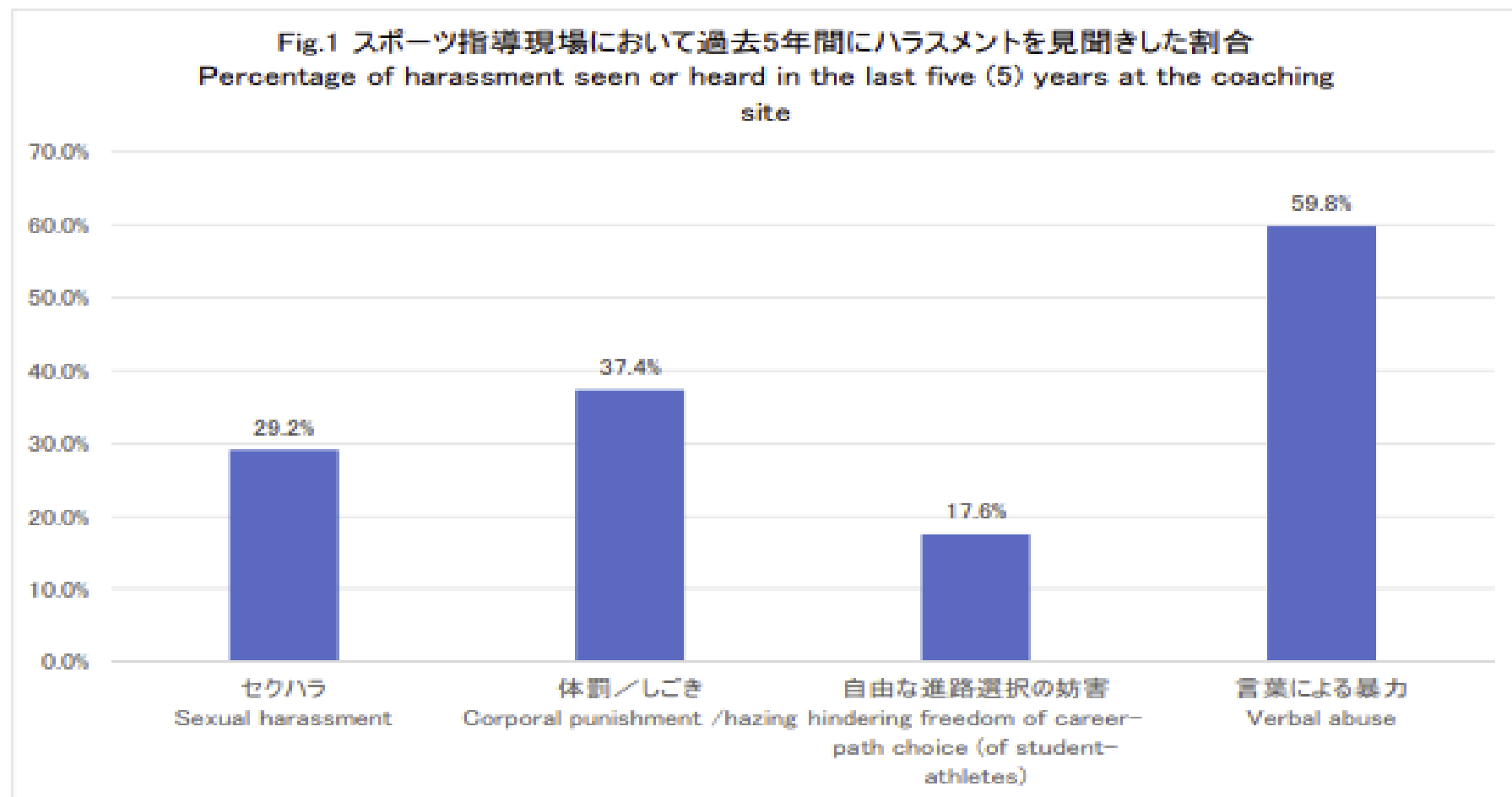


JSPO(2023)暴力等相談窓の相談件数

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4956>

ハラスメントの実態

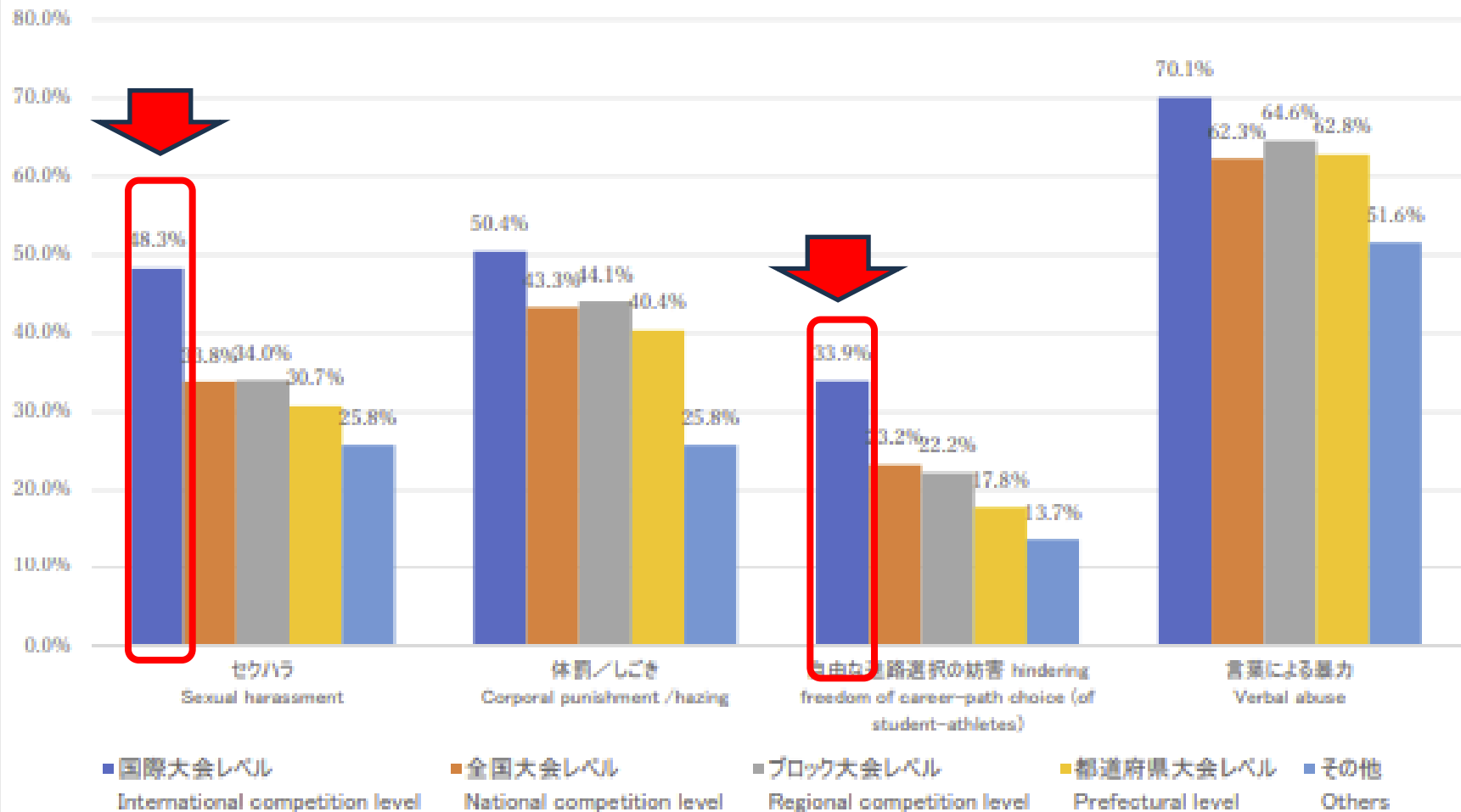
- スポーツ指導時のハラスメント(4つ)に関する設問に回答を求めた対象は28,547名であり、2,611名から回答を得た(有効回収率: 9.2%)。学生対象



ハラスメントの実態

Fig.2 見聞きしたハラスメントと指導対象の競技水準

Harassment seen or heard at the coaching site among coaches of different competition target of target athletes.



精神的ハラスメント（例）

- **言語的攻撃：**

「センスない。お前がいても意味がない」

- **関係性攻撃：**こどもが話しかけても無視する。

- **非言語的なネガティブメッセージ：**

わざとらしいため息、馬鹿にした表情

- **過度のひいき：**お気に入りのこどもを特別扱いする。

- **関係性の切り離し：**ミーティングにわざと入れない。

- **過少な要求：**

練習中に、「何もしなくていい」とわざと練習を中断させる。

- **過大な要求：**道具の修繕など、他の人の仕事まで押し付ける。

部活顧問の性暴力で今も苦しみ 絶対服従の中で日本にも必要な機関 朝日デジタル 2024年9月23日

<https://news.yahoo.co.jp/articles/36f01982c47f5c3dede66e5eefc8690ccbf200cb>

- ・西日本に暮らす40代の女性は、いまもソフトボール部の男性顧問に怒鳴られる悪夢にうなされる。女性に通っていたのは中高一貫のカトリック系の私立名門女子高校。
- ・練習でミスをすれば、容赦なくビンタが飛んだ。絶対服従の世界だった。高1の秋に、キャプテンになり、顧問が使う部屋に報告に行くようになった。「マッサージをしてくれ」と言われ、嫌だと言えず続けた。
- ・さらに「整体・マッサージ」を教えると言われ、互いにやりあう形になった。肩や腰を押し合うだけでなく、顧問の下腹部を押さえさせられたり、女性の恥骨を押されたりもした。

・毎日泣きながら、帰宅した。しかし、だれにも言えなかった。「レギュラーやキャプテンを外されないため、という気持ちがあった」

・相談すれば、**みなが頑張っている部活動が維持できなくなるかも**——そんな思いもあった。 高2の夏合宿の夜。顧問の部屋に呼び出された。

・「スポーツをする**高校生女子の体・筋肉を知る必要がある**」顧問は肩や腕などを押してきた。「おっぱいも触るぞ。イヤなら言え」。恐怖で体が動かなかった。部活動引退まで「マッサージ」は続いた。

・大学卒業後、「なぜ断れなかったのか」と自責の念に苦しんだ。大量に酒を飲み、うつ病を発症。「消えたい」という思いにさいなまれた。

・高校卒業から10年近くして、信頼する知人に相談し、高校に被害を訴えた。

・1年近くやりとりした結果、顧問は書面で謝罪とともに「私の行為は、あなたがおっしゃるように犯罪です」などと書いてきた。

・その後、女性は結婚、母となった。区切りをつけたつもりだったが、数年前からは再び眠れない日が多くなった。うつ病と診断され、仕事、子育てをしながら精神科に通う。

グルーミング罪(16歳未満を対象)令和5年7月から 「十六歳未満の者に対する面会要求等罪」

「グルーミング」：「(動物の)毛づくろい」

→小児性加害においては、大人が子どもの心を巧みに支配して、特別な信頼関係を築いてから、性的な画像や加害行為を要求すること。

→被害に遭っても「〇〇は嫌だったけど・・・」

「あの人はいい人」となる。

→少しずつ関係を作りながら距離感を縮めていく。

わいせつを目的として会うことを要求

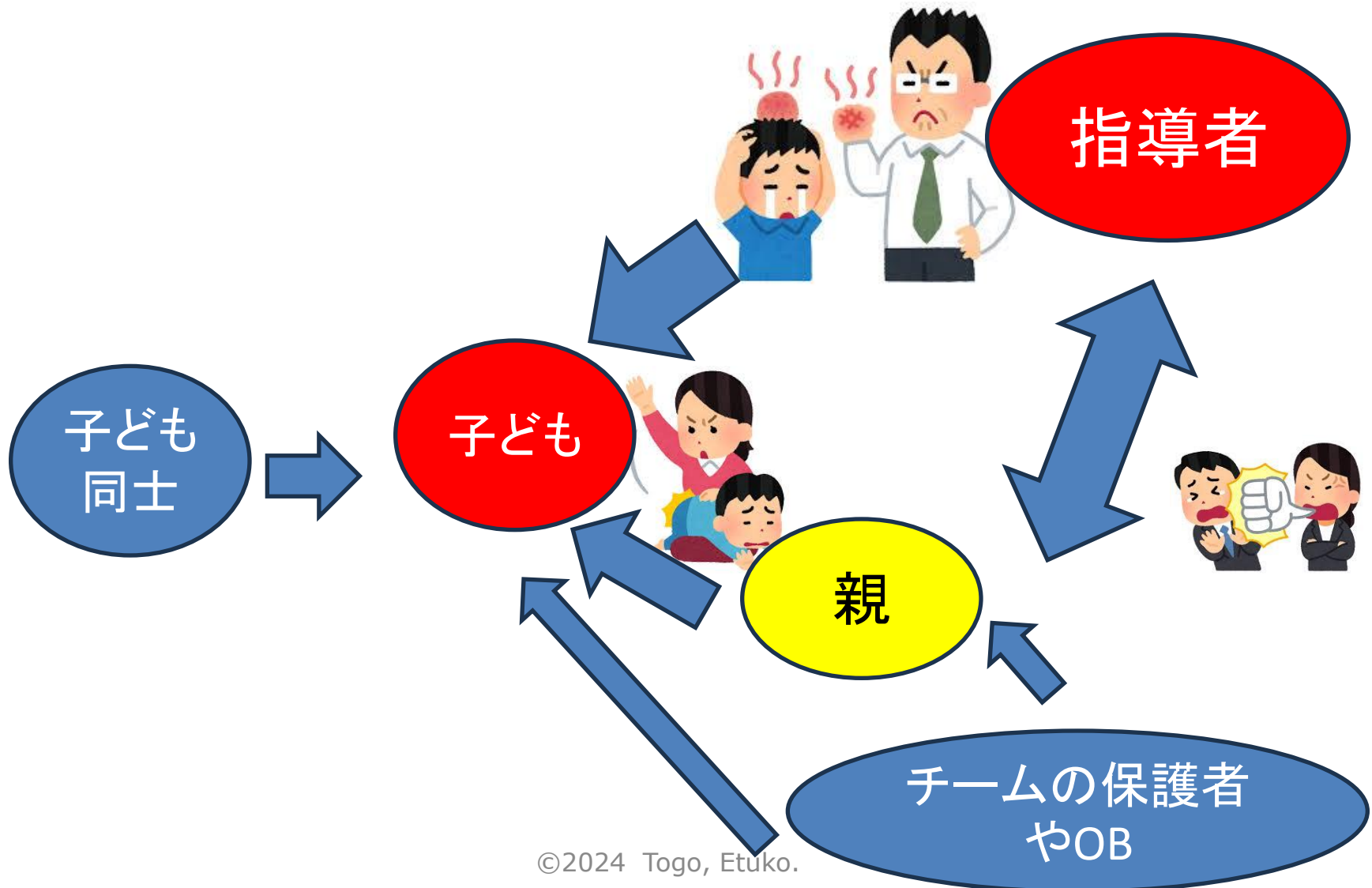
面会要求等罪



面会要求罪

映像送信要求罪

誰がハラスメント加害者になるのか？



3. ハラスメントの法的根拠

暴力の法的根拠

(望月, 2014, p126)

- 暴行罪(刑法第208条)
- 傷害罪(刑法第204条)
- 強制わいせつ罪(刑法第176条)
- 強制性交等罪(刑法第177条)
- 脅迫罪(刑法第223条)
- 強要罪(刑法第224条)の刑法に該当
- 損害賠償 民事責任

⇔ 同時に

「故意又は過失によって他人の権利又は法律上保護される利益を侵害」する場合には、「これによって生じた損害を賠償する責任を負う」(民法709条)

子どもの指導にまつわる法令

- ・子どもの権利に関する条約(1989年 日本1994年に批准)
- ・日本国憲法
- ・児童福祉法(1947年 2003年児童福祉法改訂、
2014年児童福祉法の一部を改訂する法律成立)
- ・児童虐待防止法(2000年、その後2回改訂)

→体罰防止法

- ・発達障害者支援法
- ・障害者差別解消法(2016年→合理的配慮の努力義務)

→2021年5月 合理的配慮義務化

- ・子どもの権利とスポーツの原則

国連子どもの権利委員会からの勧告 1994年に日本は批准

日本が1994年に締約国となって以来、1998年、2004年、2010年に審査が行われており、政府の第4回・5回統合定期報告書をもとに行われた4回目の審査(2019年度)。

①体罰について

②過度な競争的な生活について

③JK（高校生ビジネス）について

④子どもの意見表明について



子どもの権利とスポーツの原則 (10個あるうちの代表例)

- 子どもの権利の尊重と推進にコミットする。
- スポーツを通じた子どものバランスのとれた成長に配慮する。
- 子どもをスポーツに関係したリスクから保護する。
- 子どもの健康を守る。
- 子どもに関わるおとなの理解と対話を推進する。



4. 子どもの視点から ハラスメントを考える

大学生の声

頑張ろうと思うかもしれないが・・・。
やはり嫌だ！

ちゃんと指示だしてよ。
こんな口調で言われたら、
謝るしかないじゃん！
自分でやれば。
プレーしてないのに言うなよ。



指導者にやってほしくないこと

- 暴言、暴力（34.3%）
- 練習内容への不満（38.1%）
- メニュー内容、レギュラー選抜基準の不透明さ、コーチ同士の連携不足（14.6%）
- 中学生だと、無関心・非協力（13%）



コーチにやってほしいこと

- 具体的なアドバイスや練習方法の工夫
(68%)

基礎メニュー、応用メニュー
個人の応じたメニュー
考えさせる工夫

- 精神的サポート (10%)
- その他



ネガティブ体験の上位

	男子	M SD	女子	M SD
コーチ (男子N=24、女子N=39)	1位 失敗すると必要以上に怒られた。	3.25 (1.85)	ためいきや舌打ちをされた。	3.87 (1.89)
	2位 ためいきや舌打ちをされた。	2.92 (1.91)	失敗すると必要以上に怒鳴られた。	3.51 (1.64)
	3位 「ばか」など人格を否定するような言葉で怒鳴られた。	2.79 (1.77)	「ばか」など人格を否定するような言葉で怒鳴られた。	3.13 (1.88)
加口	1位 ためいきや舌打ちをされた。	3.91 (1.51)	ひそひそ話をされた	4.29 (1.91)

- 1) 失敗すると必要以上に怒られた
- 2) ためいきや舌打ちをされた
- 3) 「ばか」など人格を否定するような言葉で怒鳴られた。

研究結果：

ハラスメント雰囲気→親は支配的に子どもに関わる→モチベーション下がる

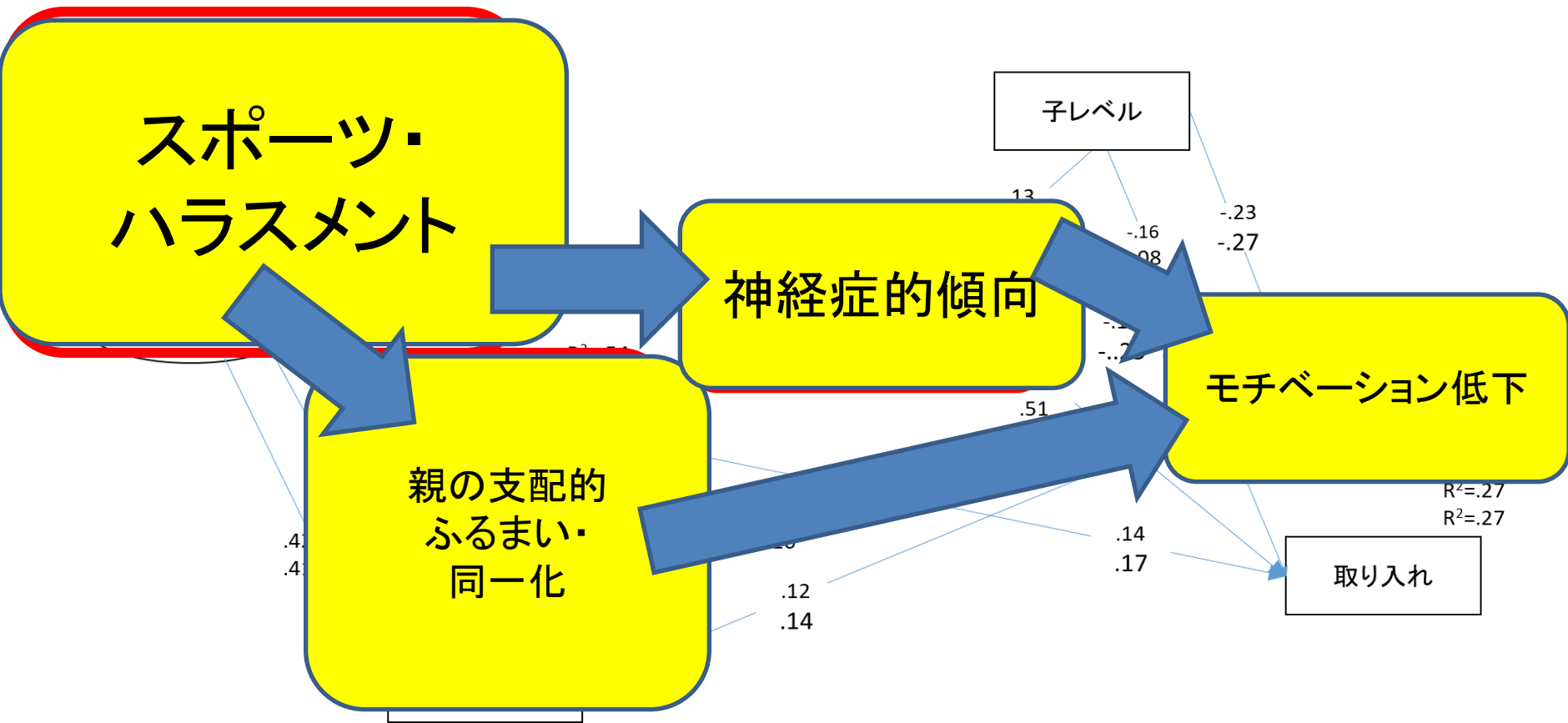
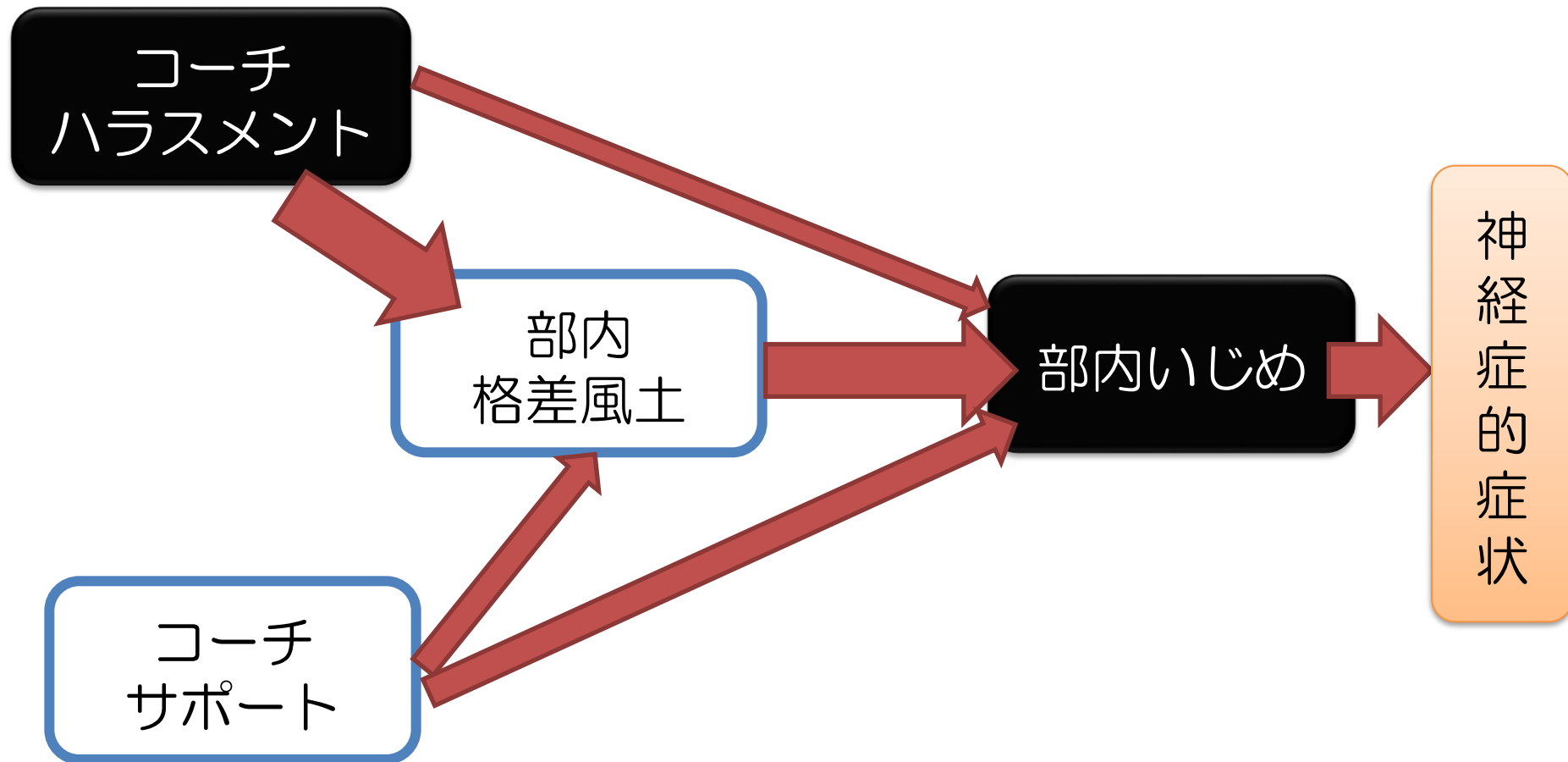


図1 スポーツ・モチベーションの規定モデル

藤後 悦子・井梅 美子・大橋 恵(2017)チームのネガティブな人的環境が小学生のスポーツモチベーションに与える影響 モチベーション研究, 6, 17-28.

コーチハラスメントと部内いじめ

(藤後・大橋・井梅, 2017)



子どもの神経症的症状例

(藤後ら, 2015)

- ①練習に行こうとすると、体に不調を感じる。
- ②物事を否定的に考えてしまう。
- ③イライラしやすくなった。
- ④嫌われないように気をつかう。
- ⑤目立たないようにしようと思う。
- ⑥誰かと一緒にいないと不安に思える。



ラグビー選手の調査より

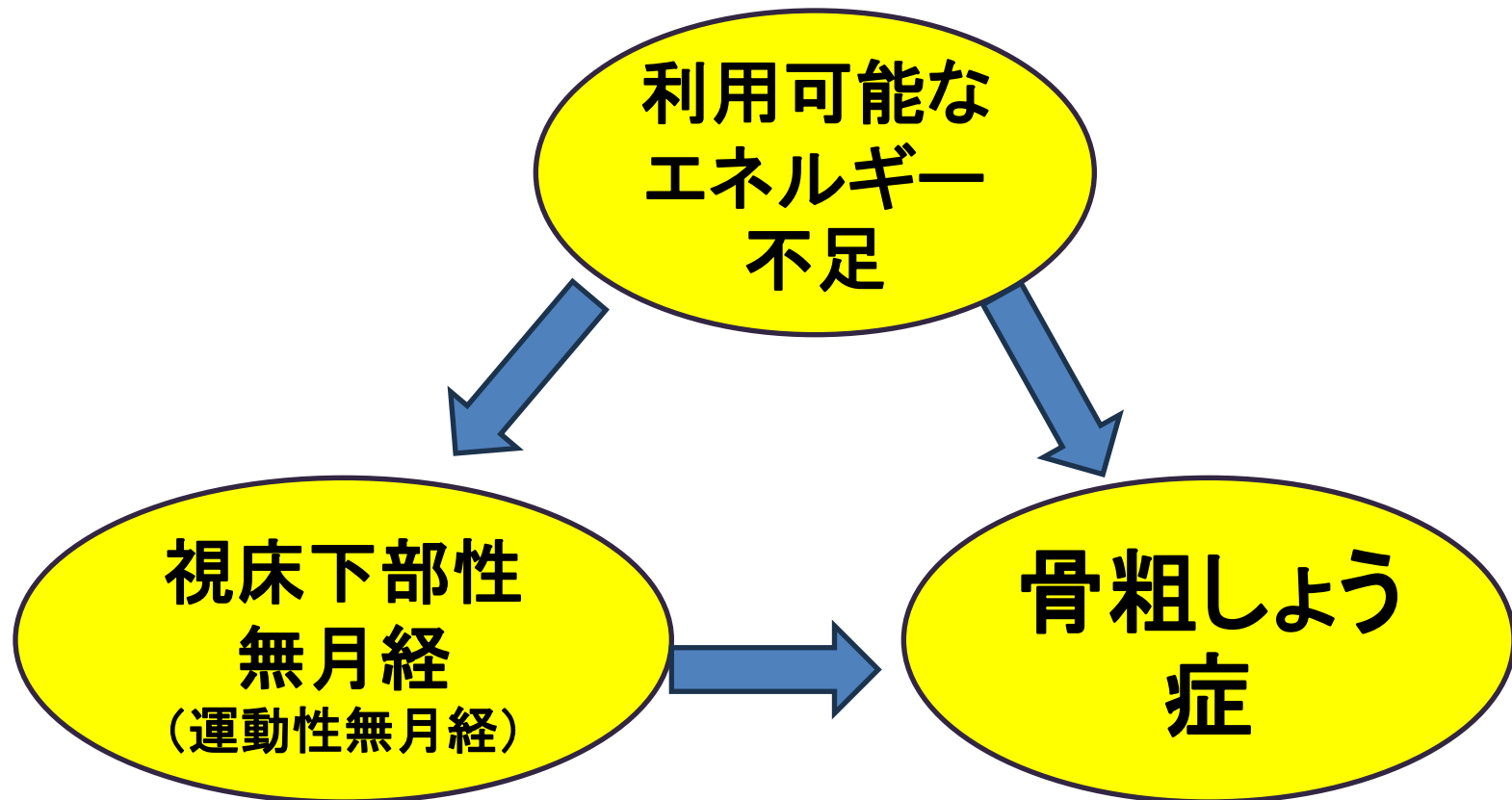
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター (NCNP)

- : 2019 年 12 月～2020 年 1 月、日本ラグビーフットボール選手会から各選手に本調査依頼
251名から回答



- ◆ 2.4人に1人の割合で、何らかのメンタルヘルス不調を経験
- ◆ 10人に1人は、現在うつ・不安障害の疑いあるいは重度のうつ・不安障害
- ◆ 希死念慮は、13人に1人に認められました。

FAT(女性アスリート3主徴)



女性アスリートの三主徴の 背景にあるハラスメント

5名のアスリートへのインタビューから(廣嶋, 2023)
月経不順の原因

共通:「あまり寝ていない」「急な減量」「ストレス」

監督によるストレス(2名)

例:「痩せろ!と毎日言われた)」「コーチからのマッサージの強要で心も体も疲れてしまって、食べる気力も失せたり・・・」

©2024 Togo Etuko

引用文献: 廣嶋静香(2023). スポーツパワハラ・スポーツセクハラの実態～子どもの権利条約の視点から考える～ デザインエッグ株式会社

不適切なマッサージの強制

(p33):「レギュラーを外されなくなかったら、俺のマッサージを受けろ、(時に俺をマッサージしろとも)」と命令され続けていたようでした。

(p35):「マッサージ、気持ちいいだろ」といつもぎりぎりのところへ・・・コーチの手は触れてきました。直接胸を触ったりするわけではないけど、ほんのうに嫌な感じで。首筋とか、胸のすぐ上とか、あと股関節とかう内ももとか・・・」～(略)いつもにやにやしながら、股関節をとにかく触ってきました。内ももはくすぐったいので脚を動かすと、もっともっと触ってきました。正直怖かったです。

不適切なマッサージの強制

(p35)～略「泣きながらマッサージを受けてた日もあります。そういう日はタオルで顔を隠しました。ほんとに嫌でしたが、呼び出されれば、いかないとあとでもっと練習で嫌なことをされたりもするので、ということをしきしました。

やめてほしいです、やめてください、っていえない自分は弱いな、べたべた触られて自分って汚い存在だな、って思っていました。私がコーチのマッサージをさせられたこともありました。さすがにあそこの部分だけは、できません、ごめんなさいと土下座したこともあります。土下座しないと許してくれなかったからです。

このことは自分の中では嫌な思い出になっています。でも、この3年間のおかげで、また今大学で、自分のスキルがあがって競技成績もでて、以前より強くなった気もしています～」

5. 大人(指導者 & 親)が 熱くなる理由

ハラスメントが起こる背景

なぜ指導者や親は過度に怒るのでしょうか？

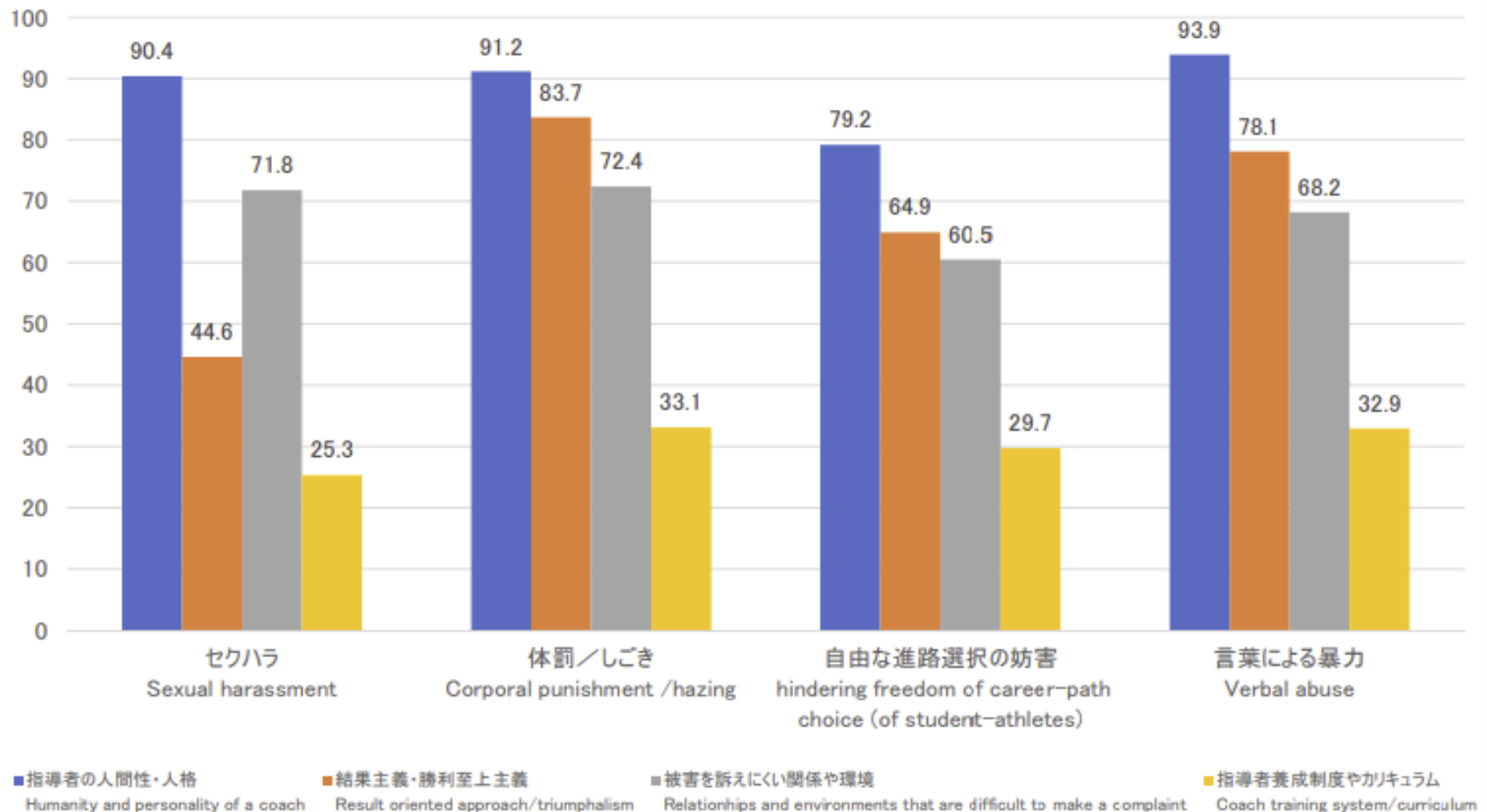
✓子どものため

- ✓生徒の実力が発揮できていないから。
- ✓生徒がふざけるため。
- ✓ルールを破るので。
- ✓一生懸命さが見えないので。
- ✓やる気が見えないので。
- ✓正義や倫理に反するので。
- ✓勝たせてあげたい。勝ちたい！！



ハラスメントの背景

Fig.4 スポーツ指導現場におけるハラスメントの背景
Background of sexual harassment at the coaching site



指導者自身が考える問題とは？

対象者：都内の体育協会に所属し、地域でスポーツを教えている指導者139名中122名（回収率88%）から回答を得た。

ハラスメントの原因	%	下位カテゴリー
指導者の性格や態度	48.2	感情コントロールの不足、自己満足や自己中心、価値観や経験の押し付け、自覚の欠如、支配的で傲慢な態度、ストレス発散のはけ口、指導者のネガティブな意識、その他の性格や態度
コミュニケーションの問題	25.0	コミュニケーション不足、相手の立場への想像力欠如や配慮不足、目標や方針の共有不足、不平等な扱い、信頼関係の欠如
指導者の価値観	13.8	勝利至上主義 成果主義・実力主義
ハラスメントが起こりうる構造上の問題	9.5	勉強不足・教育不足、権力集中
周囲の容認	3.0	周囲の問題
子どもの問題	1.0	子どもの問題

藤後悦子(2024).スポーツ関係者が認知するスポーツ・ハラスメントの原因と改善方法 — インクルーシブなスポーツ環境の構築に向けて—早期発達支援研究, 7, 1-10.

性的ハラスメント

加害者を見抜くのは難しい

加害者臨床専門家：齊藤章佳

<https://cocreco.kodansha.co.jp/cocreco/general/health/seikyoiku/N0ydM>

◆外見・特徴的な傾向はない。

→「どこで犯罪行為を起こしやすいのか」について考える。

◆犯罪空間、犯罪機会を排除する。

→「入りやすくて見えにくい場所」

◆子ども達にも性犯罪に対する知識を伝える。

◆プライベートゾーンに無断で触ることはおかしいという
自己決定権を学ぶ。

心理学的にみた指導者の暴力とは

攻撃行動(大淵, 1993)を指導者にあてはめた場合

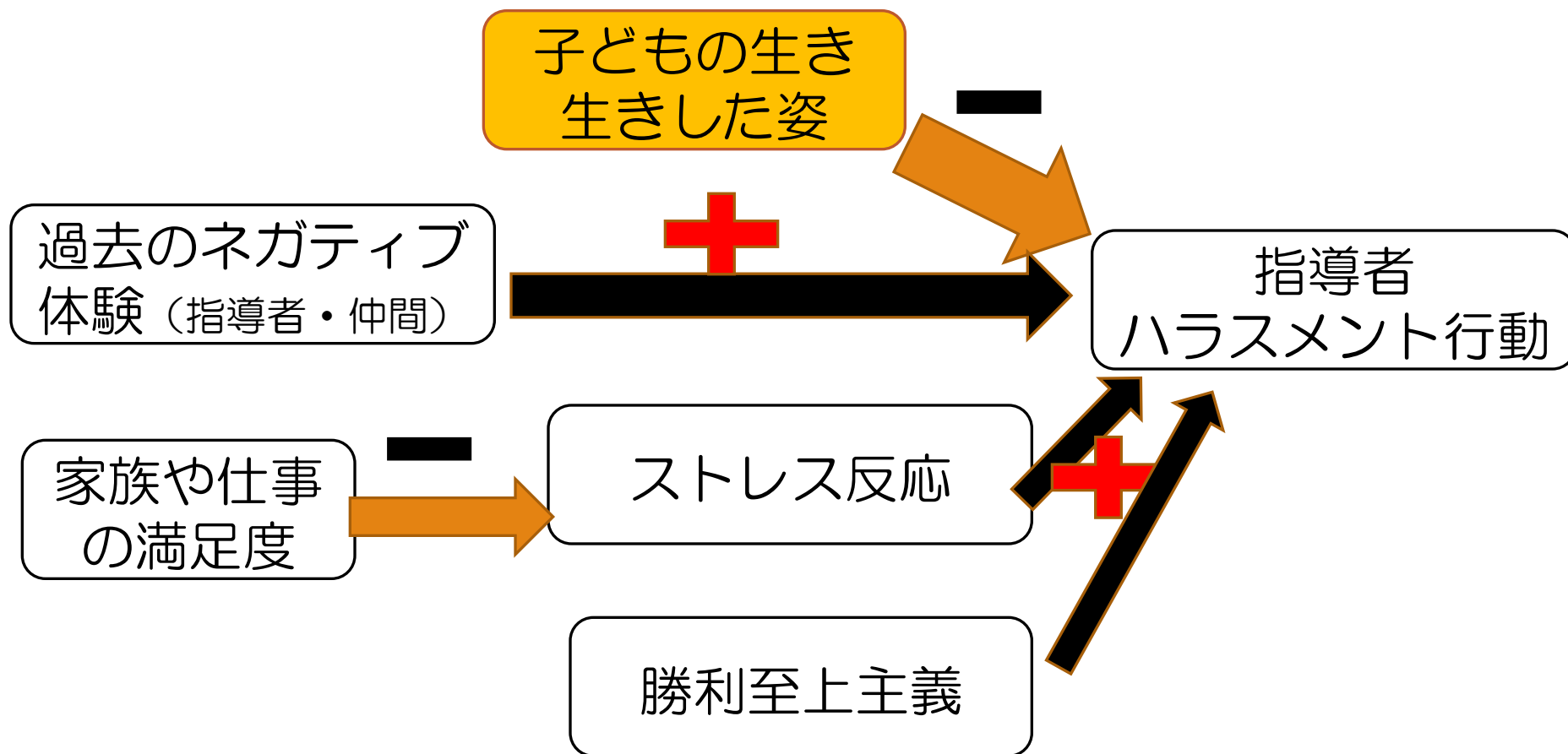
回避・防衛	自身の評価や自尊心を下げないための「防衛」
強制	自身の指導に部員を従わせようとする「強制」
制裁・報復	部の成果がでないことへの「制裁・報復」
印象操作	そして熱心に指導していることや権威があることを印象づけるため「印象操作」

スポーツにおける暴力の肯定

「気持ちが引き締まった」「自分のことを考えてくれている」
虐待の暴力再生産と類似＋一部の勝ち組の誤った成功体験

・大淵 憲一 (1993). 人を傷つける心——攻撃性の社会心理学—— サイエンス社

指導者のハラスメント行動



大橋 恵・藤後 悦子・井梅 由美子・川田 裕次郎(2016)地域スポーツの指導者が直面している課題：指導者の指導力向上に向けて スポーツ産業学研究 26(2), 243-254

性的被害の特徴

- ・ 全性的虐待の10～15%程度しか発覚していない。
- ・ 性的暴力の生涯有病率は、女性で18～19%、男性で2～3%。
- ・ 性的暴力の多くのケースでは、アルコールや薬物が関係。
- ・ 性的暴力の被害者は、加害者と面識があることが多い。
- ・ DSM-5（国際的な診断基準）におけるパラフィリア障害群に該当するような性的問題行動

- ・ 露出障害、小児性愛障害、異性装障害、窺視障害、
- ・ 盗撮、痴漢、露出、強制わいせつ、覗き、強姦、
児童ポルノ、家庭内でのわいせつ行為等)

→パラフィリアは大半が男性。

反社会性パーソナリティ障害や自己愛性パーソナリティ障害を有することもある。

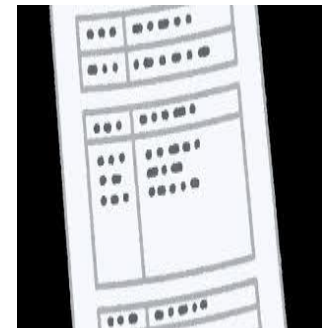
他国の例

【ノルウェー】警察の証明書が必要

- ◆15 歳以上のトレーナーであるすべてのトレーナーは、警察証明書または警察登録への個人の記載に関する情報を含む犯罪歴を持っていなければなりません。これはあなたがコーチを務めるクラブに提示する必要があります。

【サンフランシスコ】指紋検査

- ◆全てのコーチはコーチ資格を持つ必要がある。



6. ハラスメント防止に向けて

ハラスメント防止に向けての 私たちの実践



教材開発（動画）

HPのQRコード
です！
無料教材なども
たくさんあります
ので、ご覧ください。



ホームページのスクリーンショット。背景は緑豊かな芝生と建物。ナビゲーションメニュー：ホーム、自己紹介、研究成果、教材1 (MT)、教示2 (Web)、English、書籍&絵本。

ハラスメントのないスポーツ環境を目指します！

子ども達の
よりよいスポーツ環境の
構築に向けて
～Player's First～

NEWS:

- ・「部活動指導員」（ミネルヴァ書房）を出版しました。
- ・絵本「けんちゃんとサッカーボール」のドイツ語版と中国語版を作成しました。

下部には3つの動画サムネイルが並ぶ。各サムネイルには「m」のアイコンとタイトルがある。

- 1. 不適切な応援の仕方
- 2. 保護者の不適切な対応
- 3. 不適切な対応のこ...

下部には3つのキャプションがある。

- ★応援席の皆さん、試合でつい
- ★練習や試合の後に、
- ★コーチ！ちょっと、きつい

けんちゃんと サッカーボール

さく とうごえつこ え よっさん
作: 藤後悦子 絵: YOSSAN



とうきょうみらいだいがく とうごえつこ おおはしめぐみ いうめゆみこ かんしゅう
東京未来大学 藤後悦子・大橋恵・井梅由美子 監修

子ども達が笑顔で ワクワクして 夢中になれる環境を！



◆ポイント！

子どもが主体的に考える時間の保障→5分でよいので、ウォーミングアップの内容などをゲーム性を持たせて、子ども達に考えさせる。

ご清聴
ありがとうございました

